

うそぶくろ

むかし、むかし、うそつきの^{めいじん}名人がいました。^{なまえ}名前をうそ
^{ごろう}五郎といました。

5 あるとき、^{どのさま}殿様が、うそ五郎をよんで、
「お前はうそをつくのが^{じょうず}上手だそうだが、わしをうまくだ
ませるか。うまくだませたら、なんでものぞみのものをや
るぞ。」

と、いいました。うそ五郎は、かしこまって、

10 「はい、殿様、ありがとうございます。ところが、私、う
かつにも、今日うそぶくろを家^{わす}に忘れてしまいました。
^こ小だんすの上にありますから、どうか、ご^{けらい}家来をおつかわ
しになって、とってきてください。」

と、たのみました。殿様は、

15 「よし、よし」

とって、家来をうそ五郎の家^{はし}に走らせました。家来が行
ってみますと、うそ五郎の家では、

「そのようなもの、ございません。みんな、うそ五郎のう
そでございます。」

20 そういいました。

殿様もだまされたのでした。

うそつき=Lügner めいじん=Meister

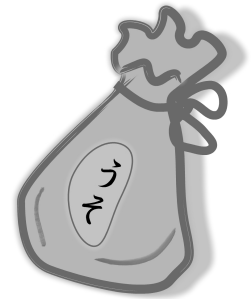
5 殿様=Landesherr

かしこまって=förmlich

10

家来=Diener, Lehnsman つかわす=schicken (Respektform)

15



20